

事業所名

こどもデイサービス れんげつぼみ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		ビジョン：自己実現が可能な地域共生社会を目指す・ミッション：事業を通じて地域で活動できる人材を育む・バリュー：主体性を持って自己選択、自己決定を行う					
支援方針		一人一人の発達過程や生活環境の段階に応じて自己選択、自己決定を中心に生活能力、意思疎通能力、身体能力及び学習能力の向上、こどもが主体的、包括的に地域社会に参画し、幸福度を高める。					
営業時間		9 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の基盤作りのため、送迎時間は基本的に固定し、迎えまでに支度が終わるよう促し等の支援をします。また、就寝時間は最低9時間取れるよう、保護者も含めて意識付けを行います。</li> <li>来所時体調確認を行い、利用中の体調観察も行います。</li> <li>朝の会では、歯磨きと洗顔の確認、健康生活の基本となる身体作りのためラジオ体操を行います。</li> <li>生活スキルの向上のため、自身の荷物の整理整頓や机上の整理整頓を習慣化するように支援します。</li> <li>集団活動・個別活動等は児童主体で行い、調理活動や清掃など生活する上で必要な生活スキルを獲得できるように継続的に支援します。</li> <li>れんげ通貨を用いて、働くことの大切さ、お金の大切さ、就労意欲の向上等、学習できるように支援します。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣を身に付けるために、休業日には朝の会でラジオ体操を行います。</li> <li>週2回ほど全体、又は個別で運動活動を行います。気温や天候に応じて、児童が楽しくできる活動を行います。視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に使えるような遊びを通じて、身体の使い方や道具の使い方、自身の身体をイメージ通りに動かすことができるよう支援します。また、感覚の過敏、鈍麻などの偏りに対する環境調整等の支援をします。</li> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持を意識できるように支援していきます。児童の体格に合わせた椅子や机、また姿勢保持が困難な場合は姿勢保持装置などの様々な補助具を用いたり、理学療法士と個別支援活動を通して、正しい姿勢の習得ができるよう支援します。</li> <li>事業所外での移動や公共交通機関を利用する活動を設定し、社会的場面における移動能力向上のために支援をします。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。情報処理が難しい児童へは、絵やイラストなどを活用し、情報を適切に処理できるよう支援します。</li> <li>1日の最後に振り返りを行い、日付や曜日、天気の確認をします。自身で1日の様子を自己評価してもらい、何故その評価になったかを説明できるよう支援します。よい行動は称賛、よくない行動については今後どのように行動するかを考えるよう促します。</li> <li>相手に応じた言葉遣いや、状況を判断して話しかけるように促し、場面にあった言動がとれるよう支援します。</li> <li>時計(時間)を見て行動する習慣を身に付けるために、1日の活動内容のスケジュールを作成します。スケジュールには時間を記入し、時計が読めない児童へは、時間を意識する習慣を身に付けるために、タイマー等を使用して支援をします。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションに必要な基礎的能力を身につけることが出来るよう支援します。</li> <li>1日の最後に振り返りを行い、1日の出来事と気持ちを伝えられるよう支援します。</li> <li>事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身につける事が出来るよう支援します。</li> <li>イベントや掃除等の話し合いを児童主体で行うよう促し、相手の話を聞いたり、自分の考えを相手に伝える場を設定します。</li> <li>年齢や障害特性を理解し合い、相手に伝わりやすい方法を用いて伝えるよう促し、場面や相手に応じて主体的にコミュニケーションが展開できるよう支援します。</li> <li>障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援をします。学校からの宿題がない場合は、事業所で課題の準備をし、習慣的に学習が行えるようにします。苦手意識が強い児童へはイラストや褒美等を用意し、楽しめる環境を設定を行い、意欲が高められるよう支援します。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所・職員に対して、安心感・信頼感を持ち、児童の居場所として利用できるよう支援します。</li> <li>自身の気持ちを考え、他者の気持ちを理解し受け止め、応ずることや場面に合う言動ができるよう支援します。その際には個別支援活動などでSSTによる他者との関係性の確認や、異性との距離感・関わり方について考えられるよう支援します。</li> <li>小集団から他者と協力できる活動を行い、全体活動では児童の年齢や特性に応じた役割を担えるようにし、児童が主体に活動できるよう支援します。</li> <li>利用終了前に振り返る場を設定し、自身の行動の特徴を理解した上で、自己を肯定的に捉え、称賛できるよう支援します。</li> <li>集団活動でのルールを理解し、共に活動することを通じて相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援します。また、児童の希望に応じて集団参加しやすいよう支援を行います。</li> </ul>					
家族支援	・年1回～3回程度で家庭訪問・事業所内相談の実施			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年齢に合わせて進学・就職について本人、家族への相談援助</li> <li>移行先と情報共有や相談援助・児童館への移行や情報共有</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋樑児童館との定期的な交流・合同イベントの開催</li> <li>地域での職業体験・地域行事やボランティアへ参加をし、地域住民や協力員との関係性構築を図る・地域と合同避難訓練の実施</li> </ul>			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部研修（単独・複数事業所で実施）・法人研修</li> <li>ICFを活用し、多様な考えを学ぶ機会を設けている</li> <li>外部研修・1 on 1 ミーティング等</li> </ul>		
主な行事等	4月：進級式 5月：GWイベント 6月：調理実習 7月：七夕イベント 8月：夏休み外出イベント 9月：調理実習 10月：秋祭り、ハロウィンイベント 11月：調理実習 12月：クリスマス会 1月：初詣 2月：節分イベント 3月：れんげ生誕祭 ★毎月第1,3月曜日にパソコン教室を行っています。調理活動は感染状況に配慮しながら毎月行っています。上記以外でも季節のイベントや外出活動等も行っていきます。						